

# 香取市合併10周年記念事業

## 作文コンクール入選作品集



香取市合併10周年

香取市では、平成28年3月27日に迎える合併10周年を記念して、市内小学校の4年生を対象に、「ふるさと香取市」というテーマのもと、香取市の好きなところや、未来への思いなど、香取市を愛する気持ちを表した作文を募集しました。この作文集には、たくさんの応募の中から選出された、各クラス1編の入選作品を掲載しております。

# 発行に寄せて

香取市は、平成十八年三月二十七日に、佐原市、小見川町、山田町、栗源町の一市三町が合併して誕生しました。

そして、平成二十八年三月二十七日、晴れて合併十周年を迎えました。

十周年を記念して、合併時（平成十七年度）に誕生された市内小学校の四年生の皆様を対象に、「ふるさと香取市」というテーマのもと、作文コンクールを実施し、香取市の好きなどころや、未来へ向けた思いなどを自由に表していただきました。どの作品も、香取市を愛する気持ちが素直に表された、素晴らしい作品ばかりです。

この作文コンクールを通して、香取市の魅力を再確認・再発見していただくとともに、児童の皆様が思い描く、未来への思いをしっかりと受け止め、香取市をより良いまちにするため、これからも励んでいきたいと思えます。皆様には、香取市とともに大きく成長していただき、輝かしい活躍を期待しております。

最後になりましたが、作文コンクールの実施にあたり、ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。あいさつとさせていただきます。

# 次

# 目

	最優秀賞	笑顔がいっぱいの香取市	小見川中央小学校	多田 栞由羽	1
	優秀賞	ふるさと香取市	小見川北小学校	柏熊 美桜	1
//		かがやけぼくらの香取市	第一山倉小学校	石毛 敬視	2
	佳作	香取市自まんのおいしい農産物	神南小学校	鈴木 彩帆里	2
//		大好きなふるさと	津宮小学校	高安 花づほ	3
//		ふるさと香取市	小見川南小学校	菅谷 優唯	3
	入選	ぼく達の香取市	佐原小学校	小倉 悠馬	4
//		未来へ、香取市	佐原小学校	小貫 紗彩	4
//		香取市の今と未来	佐原小学校	城後 香帆	5
//		ふるさと香取市	佐原小学校	高木 翔太	5
//		わたしの大好きな町 香取市	北佐原小学校	黒田 萌花	6
//		ぼくたちの香取市	東大戸小学校	鈴木 海翔	6
//		歴史が残るまち 香取市	竟成小学校	小倉 匠叶	7
//		香取市の夢・私の夢	福田小学校	田代 菜々子	7
//		十才、おめでとう！	香取小学校	香取 来珠	8
//		わたしの好きなもの	瑞穂小学校	山口 愛実	8
//		ふるさと香取市	新島小学校	大須賀 朋華	9
//		ふるさと香取市	大倉小学校	鎌形 知慧	9
//		ぼくの大好きな香取市の未来	小見川中央小学校	大島 涼太	10
//		未来の香取市	小見川中央小学校	八角 桃衣	10
//		私の好きな香取市	小見川東小学校	横溝 すずか	11
//		大好きなふるさと香取市	小見川西小学校	近野 大和	11
//		大好きな香取市	八都小学校	市川 ひなた	12
//		香取市のよい所	八都第二小学校	林 彩華	12
//		私と同じ年	府馬小学校	寺嶋 眞子	13
//		ぼくの住んでいる山倉	山倉小学校	金杉 優志	13
//		香取市の未来	栗源小学校	小泉 蓮	14

## 笑顔がいつぱいの香取市

小見川中央小学校 四年 多田 栞由羽

香取市の人たちは、やさしくて、明るい方がたくさんいます。学校の行き帰りに出会う人は、名前がわからないのですが、「おはよう。」

と、笑顔であいさつしてくれるので、毎日さわやかな気持ちになります。

そして、私が住んでいる小見川には、すてきな所がたくさんあります。春には、城山公園で桜祭りがあります。花びらが風にふかれ、まい散る様子が、私はとても好きです。夜には、ぼんぼりに明かりが灯り、遠くからでも城山公園が一目で分かります。

夏には、百年以上続いている水郷小見川花火大会があります。いろいろな種類の花火が打ち上げられ、私たちの目を楽しませてくれます。なかでも水中花火はとても迫力があります。私にとって夏の楽しみの一つです。

秋には、身近に自然を感じられます。水田が黄金色にそまり、辺り一面が金のじゅうたんのようです。木の実もたくさん落ちていて、どんぐりや松ぼっくりを使った小物を作ったりするのも面白いです。

冬には、水上スポーツで有名な黒部川に、白鳥がやってきます。えさやりや観察ができて楽しいです。

四季を感じられる豊かな自然や、風情ある行事が目白押し。香取市は、私の自慢です。

十年後は、私も二十才です。今度は、私たちが香取市を支える番です。私がお大人になったときに考えることは、子どもたちが自然や人と、いつぱいふれあえるまちをつくることです。しん災で閉さになった市民プールの再開や、空き地を利用した大きな公園ができないでしょうか。そして、人間だけでなく、自然やそこに住む動物たちにとっても、かけがえのないふるさとにしていきたいです。明るい未来のために、私も笑顔でがんばります。

## ふるさと香取市

小見川北小学校 四年 柏熊 美桜

私の自宅は佐原にあります。三才の誕生日前から母の実家がある小見川の保育園に通い始め、小学校も小見川北小に通っています。以後、平日や日中は小見川を、週末や休日、夜は佐原を中心にと、私には市内に二つの生活場所があります。香取市が大好きな私にとって、これはとても恵まれた環境です。幅広く、ふるさと香取の良さを楽しめるからです。

大好きな佐原の大祭。夏も秋も毎年行きます。じゃあじゃあ橋のある小野川の風景も落ち着いた風情があつて好きです。社会科で伊能忠敬について学習した時は、身近にこんな偉人がいたなんて…と驚き、誇らしくなりました。自宅近くの香取神宮にもよく行きます。稚児行列に参加した時はいつも以上に歴史の重みを感じてドキドキしました。

豊かな自然がたくさん残っているのも香取市の良さです。水の郷さわら(道の駅)までは散歩コースです。白鳥にえさをあげます。川の水面を見ながら堤防を走ったり猫じゃらしを取りながら田んぼ道を歩いたりするのが私のお気に入り。小見川の祖母や亡くなった祖父には、小さな頃から田んぼや畑に連れていってもらいました。水郷小見川花火大会は田んぼに停めた軽トラックの荷台から見ます。毎年、祖母の実家の山でタケノコ掘りもします。自然の中では、時期や時間ごとに空気のおいがちがうことを感じます。高層ビルが建ち並ぶ都会はたまに遊びに行くには楽しくてわくわくしますが、やはり住むなら香取です。山や田んぼや緑の自然の中にいる方が落ち着きます。

大人になってもその先も、残しておきたいものはこれ以外にもたくさんあります。でもただ思っているだけでは願いは叶いません。だから私は、緑を増やすイベントに参加したり清掃で町をきれいにしたりして、ふるさとをの良さを守っていききたいです。そして大好きな香取市が更に発展していくために、自分ができることから始めていこうと思います。

# かがやけぼくらの香取市

第一山倉小学校 四年 石毛 敬視

ぼくは、二月二十二日で十才になります。香取市も、今年で十才をむかえます。その十才をむかえた香取市の好きなのところがあります。

香取市は、意外に面積が広く、佐原、小見川、栗もと、山田と四区あります。その中でも緑が多くまだ自然がいつばい残っている山田地区にぼくは住んでいます。季節が変わるごとに森も変わっていきます。春にはみんなで植林したさくらが満開にさきます。夏には、大きなオニヤンマが家の中に飛んできます。秋は学校の大きいちようが黄色にいろづき、冬は星がすぐ近く見えて流星群を庭で見ることが出来ます。こんな大自然がみれる香取市がとて好きです。

また、香取市にはたくさんのお祭りがあります。古くから伝わる祭りや、花火大会、おいしい物がいつばいあるふれあい祭りです。それに、有名な香取神宮もあり色々な行事が昔のままうけつがれていきます。おじいちゃん世代の人に教えてもらいぼくたち世代が次にリレーをしているような感じですよ。

そんな、香取市も今は人口がへつています。ぼくたちの山田地区は五校の小学校がいつしょになり一校になる予定ですが、ニクラスです。もつといつばい友達がふえるように子どもがふえるような市にしたいです。

そのためには、有名な市になればいいと思います。色々なじまんできるところをインターネットで流して世界からも香取市にきて、楽しんでくれば住みたくなる人もいると思います。

山を切り開き道路ができて便利になり、山に太陽光発電が見られるようになりました。でも、他にはないこの自然を大切に、きれいなさくらや大きなオニヤンマをずっと見られるようにしたいです。ゴミをすてずに、森があればないように守っていき、これからも平和に生きていきます。

# 香取市自まんのおいしい農産物

神南小学校 四年 鈴木 彩帆里

私の家は、香取市で梨とキウイを生産している農家です。いつもたくさんのお客さんが買いに来てくれるので、うれしいなと思っていましたが、それがどうしてなのかわかりませんでした。だから、祖父に聞いてみることにしました。

梨作りは約五十年前に私の祖父が始めたそうです。朝早くからキウイや梨の世話をし、お客さんがおいしいと喜んで買ってくれる商品づくり、人にあげたくなるような商品づくりを目指していると話してくれました。生産した商品は、地方市場に出荷したり、直売所や自分の家で直売したりして、お客さんに新せんなフルーツを届けているそうです。

私は今まで、このような歴史や苦労、工夫があるとは知りませんでした。長い年月をかけて、家族ががんばって生産した商品をお客さんが喜んで買ってくれるなんて、とても自まんに思えてきました。祖父は、「一度来てくださったお客さんが何度も来てくれるとうれしい。」と話していました。そこで私は、よく買ってくれるお客さんにも話を聞いてみました。

「家族で食べるだけでなく、遠くに住む親せきや友達に宅配して喜んでもらっています。」

という話が聞けました。つまり、お客さんは大切な人へのおくりものを選んでくれたのです。私はもつとうれしくなりました。そして、お客さんが香取市の自まんのフルーツとして選んでくれるような商品を、これからも作っていきけるといいなと思いました。私は、祖父のこれまでがんばってきた気持ちが、少しだけわかった気がしました。

香取市は、農業がさかんな地いきだと社会科で学習しました。梨、キウイ以外にも、サツマイモや落花生、米などおいしい農産物がたくさんあります。香取市の自まんの農産物を全国のお客さんに食べてもらいたいです。

## 大好きなふるさと

津宮小学校 四年 高安 花づほ

社会科の学習で、「伊能忠敬」について調べたり、記念館を見学したりしました。学習を通して、「こんなりっぱな人がいた香取市ってすごい。」と思いました。

わたしは、自分が住んでいる香取市が好きです。大好きなところが三つあります。

一つ目は、「佐原の大祭」です。佐原ばやしの音や山車、音が聞こえたり山車が見えたりすると、わくわくします。笛やたいこ、つつみの音がわたしの心の中にひびいてきます。佐原の大祭で一番のお気に入りには、「のの字回し」です。回った後、地面に「の」の字があるのを見て、「すごい。本当にこの字が書いてある。」と思いました。これからも佐原の大祭を見たいです。

二つ目は、「香取神宮」です。おすすめの季節は春です。さくらがたくさん咲いている中を通ると風で散るさくらがきれいです。菜の花といっしょに見るさくらもおすすめです。

お参りをした後に食べるお団子も大好きです。十二年に一度、午年に行われる「神幸祭」に二年生の時、参加しました。みんなと一緒に香取神宮から津宮まで歩きました。疲れたけれど、とてもいい思い出になりました。

三つ目は、「佐原の街なみ」です。小野川ぞいには、伊能忠敬旧宅があります。昔の家や、くらを利用してお店にしたりレストランにしたり、中に入ると、昔にタイムスリップしたかのような気分になります。町の中を歩いていると、いいにおいがしてきます。食べ物もとってもおいしいです。香取市は合pei十年になり、私も十才になりました。これからも、わたしの大好きなふるさとを見続けていきたいです。

十年後、安心安全な香取市にするために、もっと大好きな香取市にするために、わたしのできることは何かを考え、実行していきたいと思います。

## ふるさと香取市

小見川南小学校 四年 菅谷 優唯

香取市のいいところや、好きなところは、たくさんあります。

わたしの住んでいる香取市阿玉台は、山と田んぼに囲まれた、のどかで緑の多いところです。四月には、田植えが始まります。わたしのおじいちゃんも、毎年おいしいお米をがんばって作っています。千葉県の中でも、香取市のお米が一番と聞いて、とても自まんに思いました。わたしも、おいしいお米を毎日食べています。

夏には、水ごう小見川花火大会や佐原の有名なお祭りなど、みんなが楽しんで、もり上がれるイベントも、香取市にはたくさんあって、わたしもとても楽しみにしています。

「小江戸」とよばれた佐原の町なみは、テレビで何度か見たことがあります。毎年出場している小江戸マラソンでは、今年もがんばって、走りきることができました。出場する人も、応えんの人も、みんな楽しみにしています。

わたしの通っている小見川南小学校は、人数が少なく、全校児童は五十九人しかいません。でも、秋の大運動会では、地いきの人達と心が一つになって、どこの小学校にも負けないぐらいのすばらしい運動会になります。

わたしは、香取市で生まれて育ってきたので、他の市や町に住んだことは、一度もありません。きっと、どの市や町にもいいところは、たくさんあると思います。でも、わたしにとっては、香取市が一番です。わたしは、香取市が大好きなので、これから十年たっても二十年たっても、今と変わらない、自然がいっぱいで、人が優しいところであってほしいです。

## ぼく達の香取市

佐原小学校 四年 小倉 悠馬

ぼく達が住んでいる香取市は、約十年ほど前に「佐原市」という名前から、近くのいくつかの町が一つになり、「香取市」という名前になったというので、ぼく達の年と同じに、年月をすこしてきています。

そんな香取市の中でぼくが好きなところの一つ目は、小野川ぞいの古い町なみです。なぜかというところ、他の地いきへ出かけてみても、古い町なみがほぞんしてある地いきは少ないけれど、香取市は、古い建て物や風景をほぞんしてあるからです。十年後ぐらいには、小野川ぞい以外の通りも古い町なみになり、もっと有名な町になってほしいです。そして、ぼく達が育ってきた香取市に、いろいろなところからもっとたくさんの方が来て、とてもにぎやかな町になってほしいです。

二つ目は、香取神社です。日本全国に約四百社ある香取神社の総本社で、「神宮」と名の付く神社の中で、平安時代から神宮とよばれたのは、いせ、か島、香取の三つだけだそうです。そんな立っばな神宮が身近にあることで、やはり香取市の歴史がよく感じられる場所だと思います。

毎年、お正月になると、車やバスなどを使って遠いところからたくさんの方が、香取神宮にお参りに来ます。見なれない場所の名前のついた車のナンバーを見ると、やはり、香取神宮がどれだけすごい神宮なのかということを感じることができます。そして、そのことよって、「香取市」という町に、自信を持っていくことができます。

今までも、これから先も、歴史を大切にする香取市であってほしいです。

## 未来へ、香取市

佐原小学校 四年 小貫 紗彩

私達の町、香取市は、今年で十周年をむかえます。私の生まれた年に、香取市になったのだと、お母さんから聞いていました。これからの香取市を、より良くするために、私達にできる事がたくさんあると考えました。

香取市は、佐原市、小見川町、山田町、くり源町の、四つの市町が合っいでできた市です。私はどの町も、良い所やすてきな所がたくさんあると思います。それぞれの地いきで行われる、お祭りやイベントにも、すてきなみ力がたくさんあります。よく見てみると、たくさん発見があり、とても面白いです。私の住むところの、佐原地区は、古い町並みが有名で、よく観光客の方がおとずれます。近くに住んでいても、知らない所や、入った事の無いお店などがたくさんあります。自分の住む町を、もう一度見つめ直す事が大切だと思いました。そして、様々な地いきの人と交流し、香取市をよく知っておく事も大切だと感じました。

私は、他の地いきと合っいでした事に、感しゃをしている面もあります。私は、山田町の児童館で料理教室に通っています。もし山田町と合っいでしていなかったら、料理教室には通っていなかったと思います。それに、たくさんの方の学校の人と交流する機会もふえたので、合っいでして良かったと思えました。なので、地いきでたくさんの方と交流ができる、様々なイベントを考えてほしいです。

そして、私の家には、おじいちゃんやおばあちゃんがあります。こしがいたくて、出かけられないことも多くあります。なので、若い人達だけでなく、お年よりの方も住みやすい市を、未来へ向けて作りたいです。

## 香取市の今と未来

佐原小学校 四年 城後 香帆

わたしの住んでいる香取市には、すてきな所がたくさんあります。そのなかでも、わたしが香取市で好きな所が三つあります。

一つ目は、佐原の町並みです。なぜかというと、昔の時代にタイムスリップした気持ちになるからです。大祭のときには、おだやかな町が一気ににぎやかになる所も好きです。

二つ目は、空気がきれいな所です。青空がはつきり見えるし、夜には星がかがやいて見えます。また、水もきれいで、米作りがさかんです。水田で作るおいしいお米が毎日食べられることもうれしいです。

三つ目は成田空港が近いことです。すぐに国内や国外に移動できるところが好きです。わたしも何度か飛行機で旅行をしたことがあります。そのときに、とても便利だなあと思いました。

では、このような香取市を未来に向けて、より良くしていくためには、どのようにすればよいのでしょうか。わたしは、未来の香取市について考えてみました。

まず、わたしの好きな町なみや伝とつ、文化などを守っていくことです。つぎに、きれいな空気や空、水、水田も残していくことです。これらは、香取市の宝物なので、ぜひ未来にも伝えていってほしいです。

一方で、電車やバスなどの交通の便を良くしてほしいです。なぜなら、成田空港が近くにあるけれど、外国人のお客様はあまり見かけないからです。だから、海外からの観光客がふえるように、交通の便を良くし、香取市をもっとたくさんの人に知ってもらいたいのです。

わたしは、香取市をより良くするために、ごみ拾いなどや、ボランティアにさんかして、きれいな水、空を残せるようにしたいです。

## ふるさと香取市

佐原小学校 四年 高木 翔太

佐原市から香取市に変わってから、十周年になったと聞きました。ぼくもちょうど十才です。その香取市のすばらしいところを三つしようかします。

一つ目は、佐原の古い町並みです。古い町並みは、昔の家や建物が多く残っています。しかし、東日本大しん災があり、佐原も多くのひ害を受けました。近頃ようやく、元通りになってきました。多くの人々の助けがあつて、ふっこうできたことがすばらしいと思います。ぜひ、多くの人にふっこう後の町並みを見てもらいたいのです。

二つ目は、伊能忠敬記念館です。地図作りに使った測量道具が多く展示されていて、どのように測量していったのかがよくわかります。その他にも、記念館の人達や地いきの人が協力してイベントを開いています。ぼくもいっしょに協力して、忠敬先生のことをよく知ってもらえるようなお手伝いをしてみたいと思っています。

三つ目は、佐原の大祭です。夏と秋の二回行われ、夏は十台、秋は十四台の山車が引かれます。その三日間のはく力は、四トンもある山車を子供から大人まで力を合わせて、つなを引くところです。山車の上には、大きな人形ががざられ、おはやしと共に、無形文化ざいになっています。そして、男の人達がひらがなの「の」の字に回す伝とつのおかげがあります。人力で動かすゆう大さがすばらしいと思っています。

この他にも、米や野菜づくりのさかんな香取市の、水と緑ゆたかなふんい気が大好きです。古い町並みはもちろん、人々の温かさを多くの人に知ってもらいたいと思っています。ぼくが大人になってもこのふんい気がつながつてほしいです。そして、香取市の良さを伝えていく役目を受けたいです。



## わたしの大好きな町 香取市

北佐原小学校 四年 黒田 萌花

わたしの住む香取市北佐原地区は、かつては十六島とよばれ、豊富な水と広い田んぼに囲まれた自然豊かな地いきです。

以前、友達のおばあちゃんがやっていた十二橋めぐりの船にのせていただきました。橋の上から見る川の景色と、実に船の上から見る景色は、全くちがうものでした。

水面近くから見るとも大きく、船が通るたびに大きな魚がたくさん飛びはね、中には、船の中に入ってくる元気な魚もとても楽しかったです。

また、佐原の町中には小野川が流れ、その川ぞいには古い町なみがあり、多くの観光客がおとずれています。

毎年、夏と秋には佐原の大祭が行われ、たくさんのお祭りの山車と屋台が出て、とてもにぎわいます。このお祭りは佐原の自まんの祭りです。数年前、香取市以外に住んでいる私の友達とお祭りに参加したとき友達は、山車の迫力におどろいていました。

また、香取市には有名な香取神宮があり、多くの参拝客がおとずれます。毎年行われる小江戸マラソンのスタート・ゴール地点にもなっています。私も小江戸マラソンに参加し、一生けん命走り、完走することができました。

このように、香取市には多くの楽しい場所や行事があります。私は、香取市のことを知らない人たちに、もっと香取市のことをたくさん知ってもらいたいと思います。

東京に行った時、高いビルやたくさんのおでんにぎわう町を歩いたことがあります。ガヤガヤした感じがあつたので、やっぱり私は人と人とのあたたかみのある自分の住んでいるところの方がいいなと思いました。

この先も今と変わらず、自然も楽しいこといっぱいある町であるために、自然を大切に、香取市のみ力を広めていきたいです。

## ぼくたちの香取市

東大戸小学校 四年 鈴木 海翔

香取市の自まんでできる所は、自然豊かなところです。山が多く、生き物がいっぱいすみ、空気がきれいで、とても気持ちがいいです。

ぼくの学校では、総合的な学習の時間に、片野の森に探検に行きました。ザリガニやカエルなどを見ついたり、カキやカラスウリの実などの植物を観察したりしました。ぼくは生き物がいっぱいいて、自然豊かだいいなあと思いました。

社会科でも香取市について学習しました。利根川周辺の低地には、田んぼが広がっています。米の生産量は千葉県第一位で「水郷の早場米」が有名です。ぼくは、米の生産量が多いということがすごいと思いました。なぜなら、日本人が一番食べている物だったからです。これからももっとおいしい米がたくさんできるといいなあと思いました。

香取市には、「伊能忠敬」という有名な人がいます。記念館に見学に行きました。実際に使っていた道具がたくさんあり、驚きました。日本を一周同じ歩幅で歩き、その距りは地球一周と同じだそうです。香取市のほこりだと思えました。

祭りがあることも自まんです。ぼくは、総合的な学習でいろいろ調べました。みこしやたいこが出て、屋台がいろいろ加わり、町全体がにぎやかになります。山車や佐原ばやしも迫力があります。古くからの家や川も大事に残され、観光客がたくさん来てにぎわいます。昔の家を見た時、ほとんどが木やかわらで作られていて今の家と全然ちがうなあと思いました。

香取市の今、有名なものは、「米」、「伊能忠敬」、「祭り」です。これから、自然豊かな所で住みやすく、地いきの人もやさしく親切で、安全安心に毎日楽しく生活できる香取市をもっともっといろいろな人に知ってほしいです。

## 歴史が残るまち 香取市

竟成小学校 四年 小倉 匠叶

ぼくが、香取市の好きなところは、江戸時代に建てられた土蔵づくりの建物が残っていたり、古くから続くお祭りなどの行事が、まだ残っていたりするところです。

小野川ぞいには、昔を感じさせてくれる建物がたくさん残っています。社会科の学習で、伊能忠敬が住んでいた家を見学した時、ぼくが住んでいる家とはちがうことに気付きました。古くて、今の家より不便そうでした。けれど、工夫しながら生活していた様子がたくさん感じられました。その中でも、特に、家のつくりがすごかったです。火事が起きてしまった時にも、火がとなりの家に燃え広がらないように工夫してありました。昔の人たちは、いろいろなことを考えていたということが伝わってきました。

また、ぼくが住んでいる大崎地区には、神楽保そん会があります。毎年、四月の第一日曜日に、白はた神社で神楽のほうのうが行われます。ぼくも神楽に参加していますが、ぼくのお父さんや坂の下のおじいちゃんがいまをいしている姿を見て、すごくあこがれています。ふだん、お父さんは車の整備士をしていて、坂の下のおじいちゃんも畑をしています。ただ、神楽を守るために、忙しくても練習にはげみ神楽を残すための努力をしているのです。みんな伝統を守るためにがんばっていて、カッコいいと思います。

さらに、夏と秋には佐原の大祭があります。ぼくは、いつも見に行くだけけど、山車をひく人はおどりの練習をしたり、下座の人はえんそうの練習をしたりしていると知って、神楽保存会と同じように、伝統を守るための努力をしているんだと思いました。

このように、香取市にはぼくの大好きな場所や文化がたくさんあります。これからも、たくさんの観光客が訪れてくれるように、大切に残していかなければと思っています。

## 香取市の夢・私の夢

福田小学校 四年 田代 菜々子

「おかえりなさい。」

私が学校から帰ってくると近所のおばあちゃんがそう言ってむかえてくれます。この香取市は人のあたたかみを感じられるとてもいい所だと思います。帰ってくる時だけではなく学校へ行くときも、笑顔でお話ししてくれます。私は、このあたたかく笑顔いっぱい香取市が大好きです。だから、私はこの香取市のためになにかできるか考えました。

私は学校から帰るとおばあちゃんの家へ行きます。両親が仕事で夜おそくまで帰ってこないからです。私のおばあちゃんはずい人です。七十三才をすぎて、こしがまがつていても朝は早くおき、畑でたくさん働いて、その上家事までこなします。そしていつも笑顔でいます。私はそんなおばあちゃんがずいと思っています。私も将来はおばあちゃんのように笑顔でみんなを明るくすることができたいと思っています。

私は家でねこを飼っています。ねこだけでなく、ほかの動物も大好きです。そこから将来、じゅういさんになりたいと思うようになりました。そして、いつかは香取市に動物病院をひらきたいと思っています。ペットを飼っている人が病気になるったりけがをしたりしたときに助けてあげたいからです。そして、かい主の方も動物も笑顔になったり、喜んでもらえるような病院にしたいです。

未来の香取市は人のあたたかみを感じることができるといいのでしょうか。私はおばあちゃんのようにまわりの人に笑顔をわけてあげられるじゅういさんになって香取市を明るくしたいです。若い人もお年よりも笑顔いっぱいの香取市にしていきたいです。

一人ではできないことでも、みんなで協力し合い、力を合わせればもっとすてきな香取市になると思います。そうなるように私にできることからがんばりたいと思います。

## 十才、おめでどう！

香取小学校 四年 香取 来珠

わたしのたん生日は、平成十八年三月二十六日です。三年生の社会科の学習で香取市のたん生日が平成十八年三月二十七日で、香取市より一日早く生まれたことを知り、とてもうれしくなりました。

わたしは、香取市が大好きです。それは、自然が豊かで、やさしい人がたくさんいるからです。

香取市には、たくさんの生きものがいます。イノシシなどのちょっとこわい動物もいれば、うさぎなどのかわい動物もいます。それは、動物が住むことができる森や林がたくさんあるからだと思います。

また、香取市は、空気がきれいです。空気がきれいだと思いきれいになる気がします。

だから、香取市にはやさしい人がたくさんいるのだと思います。登下校のときに、近所の方にあいさつをすると、返してくれるし、「おかえり。」と声をかけてくれます。

他にも香取市には、じまんでできることがあります。それは、香取神宮です。香取神宮には、たくさんの観光客や外国の方が来ます。お正月はとくにたくさんの人が初もうでに来ます。わたしは、香取神宮のすぐそばに住んでいて、田舞に参加しています。お田うえ祭でお米のなえを持っておどったり、神幸祭の行列で歩いたりします。大変なことだけど、楽しく参加しています。

わたしは、こんな香取市をそんけいしています。香取市にはいいところがたくさんあるので、この先何年たっても、このままでいてほしいです。大きいビルなどは、あまり建ててほしくありません。

いつまでも香取市は香取市らしく、きれいな環境でいてほしいです。わたしも、大好きな香取市に住み続けたいです。

## わたしの好きなもの

瑞穂小学校 四年 山口 愛実

わたしが好きなものは、香取市のおいしいお米です。

毎年祖父母が一生けん命作ってくれるお米はとてもおいしいです。家の近くには田んぼがたくさんあり、祖父母が作業しているところをよく見かけます。いつも朝早くから仕事をやっていてすごいなと思います。田んぼに水を入れたり、様子を見に行っていたり。たくさん田んぼがあつて毎日大変だな、お米がなくなると、毎回とどけにきてくれます。祖父母が時間をかけて一生けん命作っているお米をわたしはぜいたくにもらえるなんてとてもうれしいことだなと思います。そこで祖母に、お米作りで楽しいことと大変なことは何か聞いてみました。

まず、楽しいところは？と聞くと、たねから成長するのを見ることだそうです。わたしも赤かぶを育てたことがあります。育てるのは苦労したけど、成長しているところを見ると、わくわくしました。わたしは、祖母も同じ気持ちなんだなとこの話を聞いてなつくしました。

次に、大変なことは？と聞くと、真夏にいねかりや草かりをすることだそうです。暑いのに一生けん命がんばって作っているお米の一つぶ一つぶに祖父母の苦労がまつていると思いました。

家のだん地から一めんにみえる青々とした田んぼの中で草かりをしている祖父母を見ると、おうえんしたくなります。香取市に広がるこの風景がいつまでもなくならないように願います。わたしもしょう来お米作りを手伝えたらいいなと思いました。その作ったお米を日本中の人に食べてもらいたいのです。そして、「香取のお米はおいしい！」という一言を聞きたいです。

## ふるさと香取市

新島小学校 四年 大須賀 朋華

私の住んでいる新島地区は、田んぼが広がっています。田んぼに水がたまっている時に友達と、アメンボとりをしたりします。稲がのび始めると緑色のフカフカのじゅうたんのようでその上でねころんで遊べたら気持ちいいだろうなとも思います。

私の通っている小学校の前は、新左衛門川が流れていて、水路には家と家をつなぐ一枚板のかんたんな十二の橋がかかっています。水路をサツパ船で水ごうめぐりをする観光客が学校の前を通過します。また、五月から六月には水路わきに植えてある、あじさいとあやめが咲き、とてもきれいです。十二の橋には一つ一つにこせいな名前が付けられています。それぞれの橋の名前の由来を調べると、黄門橋という橋があって、水戸黄門も十二橋をよくおとずれていたそうです。その句には、

「いた来出島のまゝもの中に、あやめさくはしほらしや」

という歌があるそうです。黄門様も何度も十二橋をおとずれていたなんておどろきました。

あやめといえば、水ごう佐原水生植物園が近くにありす。五月から六月にかけて色とりどりのたくさんのお花しょうぶやあやめが咲きます。週末には、よめ入り舟や郷土げいのうなど、イベントもたくさん行われます。遠方から、おじいちゃんやおばあちゃんが来て、毎年一緒に見に行くことが楽しみです。

佐原には、たくさんのお寺があります。香取神宮や伊のうただたか旧居など歴史的に古い町なみもあります。そして、佐原の大祭が行われたりとイベントがたくさんあります。

私は、香取市の中に知らない場所がまだまだたくさんあります。これから、もっともっと香取市のことを調べていきたいです。

## ふるさと香取市

大倉小学校 四年 鎌形 知慧

わたしが生まれてから、二カ月後に香取市がたん生しました。香取市に住んで、良かったと思うことがたくさんあります。

一つ目は、おいしい食べ物があることです。わたしは、梨が大好きです。少しすっぱくて、やわらかい「ほう水」が大好きです。小さいころから、梨をよく食べていました。

さつまいもも好きです。いもほりで大きなさつまいもをほったことがあります。香取市のおいもは、焼いても、ふかしても、冷めてもあまくておいしいです。

梨やさつまいもの産地なので、いつでもたくさん食べられます。

二つ目は、楽しい公園があることです。わたしは、よく公園に連れていかれてもらいました。たちはなふれあい公園には、長いすべり台があります。ザリガニつりもできます。黒部川の公園、わんぱく公園、くり山川の公園は楽しい遊具がたくさんあります。

三つ目は、佐原の大祭です。夏と秋に山車が、佐原の町なみを通り、夜になるとライトアップされ、とてもすてきです。山車を見ながら、屋台で買い物をすることが楽しみです。山車の人形で歴史を学ぶこともできます。

最後に、わたしが好きなのは、星がともきれいに見えるところです。晴れた夜は月もよく見えますが、たくさん星が見えます。たくさん見えるので、夜なのに明るく感じます。きれいすぎて、目がかがやいてしまします。イルミネーションも、きれいだと思えますが、わたしは、庭から見る星空が好きです。

わたしは、香取市以外に住んだことは、ありません。いつでもおいしいものがあつて、広い遊べる場所があつて、歴史も学べて、自然とふれあうことができる今の生活があたり前になっていますが、他と比べずに大切にしようと思います。これからも香取市のよいところをたくさん見つけていきたいと思っています。

## ぼくの大好きな香取市の未来

小見川中央小学校 四年 大島 涼太

香取市がたん生して、もうすぐ十周年になります。ぼくも、もうすぐ十才になるので、香取市と同じ年です。香取市は、佐原、小見川、山田、栗源の四つの地いきが一つとなってたん生しました。香取市には、緑豊かな自然や風景がたくさんあります。

ぼくは、香取市が大好きです。その理由を紹介します。まず、おいしい食べ物がたくさんあるところです。香取市には、お米やサツマイモをはじめ、梨、ブドウなど、新せんな野菜や果物が数多くあります。なかでも、お米の出荷量は千葉県第一位で、関東一の米どころと言われています。

もう一つの理由は、一年を通して楽しむことができるイベントが多くあることです。春には、桜まつりやこいのぼりまつり。夏には、あやめ祭りや佐原の大祭、水郷小見川花火大会。秋には、栗源のふるさといも祭り、よさこいまつり。冬には、小江戸マラソン大会などが行われます。また、小野川周辺に広がる「小江戸」とよばれる歴史的町並みや香取神宮には、市外からも多くの観光客がおとずれています。

ぼくは、どのイベントにも参加したことがあり、家族みんなで楽しんでいます。中でも多くの人が集まる佐原の大祭や小見川花火大会は楽しみで前の日からワクワクしています。テレビでも、よく放送されるので、有名で重なる自まん場所なんだなあと感じます。

十年後の香取市も、今と同じように、自然が豊かでおいしい食べ物がたくさんとれ、楽しいイベントもいっぱいある、住みやすい市であってほしいと思います。

ぼくと香取市は同じ年。これからも笑顔あふれる大好きな香取市といっしょに成長していきたいです。

## 未来の香取市

小見川中央小学校 四年 八角 桃衣

香取市と私たちが同じ年だったと聞いて、びっくりしたのと同時に、何だかうれしくて、ほこらしい気持ちになりました。

今、私たちは、総合の学習で、「二分の一人式」の計画を進めています。その中で、「自分史」という、自分が生まれてから今までの年表作りをしています。

自分の名前の由来や、いろいろなエピソードなどを書きながら、自分が大切にされていること、今までいろいろな心配をかけてしまったこと、自分が期待されていることなどを感じます。

香取市がたん生した時、たぶんみんなこんな気持ちだったのではないのかと思います。「新しくてりっぱな建物が立ってほしい」、「もっと有名になって、お客さんがたくさん来てほしい」、「でも自然や緑はそのまま」、「みたいなことを考えて。

そして、十年たった今の香取市は、私の大好きな町になっています。ちゃんと新しい建物もできているし、緑もすっかり残っています。そして、私の周りには、笑顔いっぱい、やさしさもいっぱいあります。助けてくれたり、時々注意してくれたりする人もいます。

私が二十才、成人になった時、香取市も二十才になります。「成人になった感想は？」

と聞かれたら、

「こんなすてきな香取市と同じ年でうれしいです。」  
と答えられるように、自分のことも、周りのこともいろいろ考えて、がんばっていききたいと思っています。

私たちのことをしっかりささえていてくれる香取市、ありがとう。そして、十才のおたん生日おめでとつ。

## 私の好きな香取市

小見川東小学校 四年 横溝 すずか

今年、私の住んでいる小見川が香取市になってから十年がたちます。十年前といえば、私が生まれたころです。この十年間、ずっと香取市に住んでいます。ここはとても住みやすく、自然が豊かです。なので、私はこの香取市が大好きです。

香取市は千葉県の中でも、米作りが有名です。昨年、社会科の学習で香取市の米作りについて学習し、農家の人の苦労や工夫を学びました。さらに、総合的な学習の時間では、米作りを体験しました。田植えやいねかりを体験し、米作りには手間と時間がかかることを知り、「私たちがふだん食べているお米は農家の人の思いがたくさんつまっているんだな。」と思いました。また、「そのお米を作っている農家の人はすばらしいな。」と思いました。

香取市には、歴史や文化もたくさんあります。中でも有名なのは、佐原です。佐原には古い街並みが残されていて、大祭が行われたり、お祭りのための山車が保管されていたりします。そのため、他の地いきから観光に来る人がたくさんいます。このように、歴史や文化がたくさんあることも香取市が好きな理由の一つです。

十年後は私も香取市も二十歳、大人になります。げんざいの香取市は、緑が豊かで、植物や生き物がたくさんいる、とても住みやすいところです。だから、大人になった香取市は、今と同じ住みやすい市でいてほしいです。そんな住みやすい香取市には、もっと有名になってほしいです。そのために、せん伝活動をしたり、香取市の自然や歴史がわかる「香取市博物館」などを作ったりしたらいいなと思います。

私は十年後、香取市に住んでいないかもしれませんが、でも、いつ来ても私のふるさととじまんでできる香取市でいてほしいです。

## 大好きなふるさと香取市

小見川西小学校 四年 近野 大和

ぼくは、香取市の小見川に住んでいます。香取市の好きなところは、五つあります。

一つ目は、畑や田んぼがたくさんあるところです。社会科の学習で香取市の地図を見たら、畑や田んぼ（水田）が多くて、おどろきました。ぼくは生き物やしょく物が大好きだから、自然豊かな香取市がいつまでも自然を大切にしてほしいと思います。

二つ目は、香取市のみんなは、朝でも昼でも夜でも元気のいいあいさつができているところです。香取市のひょう語は「元氣と笑顔があふれるまち 一人ひとりの市民がかがやく 活力みなぎる やすらぎのさと 香取」です。だから、ぼくもみんなのように元気のいい笑顔つきのあいさつを心がけたいと思います。

三つ目は、香取市の人口です。今の香取市の人口は、およそ八万人です。千葉県の中でも真ん中くらいです。合っいてにぎやかになっとうれしいです。

四つ目は、香取市に伝とう的な建物や行事がたくさんあるところです。香取神宮を始めとしてたくさんさんの神社があります。また、三年生のときに「木内神社の神楽」の学習をしましたがお祭りや神楽などもいろいろと行われています。十年後、ぼくもお祭りや神楽で活やくしたいです。

五つ目は、日本につくした立ばな人がたくさんいるところです。今年、伊能忠敬記念館を見学しました。香取市の伊能忠敬先生は、今から約二百年前に日本で初めて、実さいにそく量をして日本地図を作った人です。今の人工えい星で作った日本地図とはば変わらないほど正かくにかかれていることがよくわかりました。同じ香取市民として大變ほこりに思います。

ぼくはこの香取市全部がとても大好きです。十年後も香取市でがんばりたいと思います。

## 大好きな香取市

八都小学校 四年 市川 ひなた

わたしは二才からこの香取市に住んでいます。八年間この香取市に住んでいて、特に香取市の好きなところは三つあります。

一つ目は、食べ物が新せんでおいしいところです。農園では、さつまいもやぶどう、なしなどの野菜や果物がたくさん作られています。また、たくさんのお米があるので、おいしいお米がたくさんとれます。ちょうど港が近いのでお魚も安く新せんです。

二つ目は、自然がゆたかなところです。春になると、かえるの合唱がはじまり、春のおとずれを知らせてくれます。秋のはじまりには虫の音が夏の終わりを教えてくれます。川では、あまりいなくなつたと言われるメダカがいたり、たくさんのおえびがいます。他にもカメヤコイ、どじょう、フナなどの生き物がたくさんいます。わたしはお父さんとくりもとへえびをとりに行きました。川にはたくさんのおえびがいました。わたしのまわりには、ゆたかな自然が残っていることをとてもうれしく思ったので、この自然をこれからも大切にしていきたいです。

三つ目は、初めて日本地図を作った伊能忠敬など、日本のために努力した人がたくさんいることです。わたしは、山田公民館に伊能大図を見に行きました。そこで、忠敬が実さいに行つたそく量の仕方を体験しました。これを日本地図ができるまで、十七年間も続けていてすごいと感じました。この香取市にすばらしい人がたくさんいてほこりに思います。

このように香取市はたくさん良いところがあります。わたしは香取市に八年間住んでいて、まだわからないこともたくさんあると思います。これから、香取市の良いところを勉強して、香取市をもっと好きになりたいと思います。

## 香取市のよい所

八都第二小学校 四年 林 彩華

私が住む香取市の山田地区は自然がとても豊かです。家から学校までの通学路には、いろいろな自然であふれています。春にはタンポポがたくさんさいいたり、夏には小さくてかわいい花がたくさんさいいたりします。冬になるとしもばしらが道路のはじめにできていて、ふんで歩くのが楽しいし、屋根からたれそうになっていた水がこおって、小さなつららができています。そこに太陽の日があたるとかがやいてとてもきれいです。私はこの通学路を歩くのが大好きです。

私が、学校に登校していたら、通学路のそうじをしてくれている人がいました。それを見て私は、思わず、

「おはようございます。」

と大きな声であいさつをしてしまいました。そしたら、そうじをしてくれていた人が、

「おはよう。」

とあいさつを返してくれたので、とてもいい気持ちになりました。私の住む地域には、あいさつをしてくれるやさしい人がたくさん住んでいます。

また、香取市には楽しい行事もたくさんあります。昔から続いているお祭りや市のイベントなどがありますが、なかでも私は、夏にある小見川の花火大会が好きです。川の近くの土手で、星の形の花火や顔の花火などが夜空に打ち上がるのを見てみると楽しい気持ちになります。毎年、小見川の花火大会を見に大勢の人が香取市に集まってくるので、見に来てくれた人に香取市のよい所を知ってもらって、香取市を好きになってもらいたいです。

大好きな香取市が、十年後も二十年後も今と変わらず、きれいな自然とあたたかい人たちであふれてほしいと思います。

## 私と同じ年

府馬小学校 四年 寺嶋 眞子

私達の住んでいる香取市は、合ぺいして十年になります。これは私達四年生と同じ年です。今までいっしょに育ってきた香取市です。

香取市には一年を通して様々な行事があります。私の住んでいる地区では、神楽や夏祭りなどがあり、私も毎年楽しみにしています。

香取市の大きな行事では、佐原のお祭りやこいのぼり祭り、花火大会に小江戸マラソンのような、みんなが楽しくさんかできる行事がたくさんあります。また、香取市はきれいな星を見ることができるところや、江戸時代から続く町なみ、水上スポーツができる利根川、さらには市民に愛されている香取神宮など、すてきな場所がたくさんあります。そして、あたたかい気候とゆたかな土地にめぐまれてお米やさつまいもなどの野菜、くだものなどおいしい食べ物がたくさんとれます。私は、香取市でとれる新鮮な野菜やくだものが大好きです。

私がここで生まれて、十年がたちました。他の都市や町にも出かけたことはありますが、いつも思うことは、やはり自分の生まれたふるさとが一番だということです。香取市の自然ゆたかな土地や、すばらしい伝とうと文化があるのは、たくさんの方が努力をし、大切にしてきたからだと思います。私は、自分が育ったこの香取市が大好きです。その美しい自然や文化をこれからも守り、次の人たちに残していきたいと思います。そのためにも、私ができることは、学校で香取市のことについて勉強をしたり、友達を大切にしたり、地いきの行事にたくさんかすることだと思えます。

## ぼくの住んでいる山倉

山倉小学校 四年 金杉 優心

ぼくは、山田区のみうらざくという地区に住んでいます。学校は山倉小学校に通っています。

ぼくの住んでいる山倉のいいところは、田や畑があつて自然にめぐまれているところです。それから星がともきれいに見えるところです。

山倉には、山倉大神という有名な神社があります。冬になると、さけ祭りが開さいされます。さけが山倉のくり山川にのぼってくるから、さけ祭りが開さいされるのだそうです。

さけ祭りの日には、交通安全パレードも行われます。山倉小学校の子ども全員で山倉大神に行きます。山倉大神に着くまで、楽器のえんそつをして行きます。このパレードを楽しみにしている人がいてたくさん見にきます。ぼくのお父さんが子どもの時にもやっていたそうです。

山倉大神についたら神主さんにおはらいをしてもらいます。また、山田音頭や大りょうぶしをみんなでおどります。それから、おみこしをかづぎます。低学年と高学年にわかれてかづぎます。高学年のおみこしはとても重たいですが、みんなで力を合わせてかづぎます。神社には、たくさんの方が祭りを来ます。一年に一度のさけ祭りを楽しみにしているのだと思います。ぼくも毎年楽しみにしています。

平成三十一年には山田区の小学校はとう合して山田小学校になります。だから、十年後ぼくが二十才になったときは、山倉小学校はありません。でも山倉大神のさけ祭りはいまのままずっと続いてほしいです。



## 香取市の未来

栗源小学校 四年 小泉 蓮

ぼくのすんでいる岩部は、昔、祝部と言われていました。「祝う」と部分の「部」という字を合わせた言葉です。その祝部の由来は、古代に香取神宮職司祝部がすんでいたからです。祝部は、香取神宮のお祝いの行事などに使う、お皿やコップのような土器などを作っていたそうです。岩部は、とても歴史のあるところなんだなと思いました。

そこで、香取市のよいところを考えてみました。気候がよく、風も少なく、地しんなどの自然さい害も少ないです。ですから、お米やいもなどの野菜、なしやぶどうなどの果物がおいしく育ちます。特に、ベニアズマが日本一おいしいです。そして、日本一のやきいも祭りが開かれます。ぼくたち栗源小でも、畑で育てたさつまいもを売っています。たくさんの人がいも祭りに来てくれます。

よくないところは、栗源地区には電車が通っていないので、交通が不便です。また、会社や工場などが少ないので、つとめ先も少ないです。ですから人口は、へるばかりです。

十年後の香取市について考えました。  
まず会社や工場など、働く場所をつくった方がよいと思います。働く場所がふえれば、香取市にうつりすむ人がふえると思います。そして、にぎやかな明るい町になると思います。

また、研究所やコンピュータ関係の会社をつくとよいと思います。この地いきで、新しい技術や研究が生まれたら、とてもすばらしいことだと思います。

会社や工場、研究所などで働く人が利用できるように、道路や鉄道をつくとよいと思います。すんでいるぼくたちも、高校や大学などに通うのに、とても便利になります。

ぼくは、香取市が好きです。十年後、二十年後と、人口がふえて、明るく楽しい未来になるといいなと思いました。



香 取 市

香取市合併10周年記念事業

**「ふるさと香取市」作文コンクール作品集**

発 行 平成28年3月25日

発行人 香取市